

# 多彩なステージが 待っていますよ

在エディンバラ日本国総領事館  
領事

## 遠藤 崇

### ボーダーレスに働くのであれば…。

公の世界で、ボーダーレスに働きたいのであれば、総務省はお勧めです。総務省誕生前の自治省で採用されたこともあり、入省以来、私は一貫して「地方自治」に携わってきました。しかし、政治資金、地方財政、消防行政、国際金融市場、WTO等の国際協定、JETプログラム等の国際交流…、とこれまでに関わってきた分野は多岐に渡ります。それもそのはず、現在の日本では地方自治体が公共サービスのメインプレイヤーであり、その土台となる制度設計やバックアップをするのが、我々総務省の役目ですから、仕事の幅は必然的に広がっていきます。更には、県庁等地方自治体での勤務を皆、経験しますし、時には現在の私のように外国での勤務の機会もあるかもしれません。ボーダーレスな業務と勤務地。多種多彩なステージが用意されていることが、総務省の大きな特徴といえるでしょう。

### ふと振り返れば…。

また、一人一人に任せられる業務の責任が大きいのも、総務省の特徴かと感じています。業務に向かっている間は無我夢中ですが、一定の目処が付いて振り返ってみると、「あれ？実は結構すごいことに触れていたのだな。」と感じたことも、入省当時より一度や二度ではありません。

### 「外交」と「地方自治」は、遠い世界か…？

私は現在、英国スコットランドの首都エディンバラで、政治・経済の情報収集、分析をし、東京の外務省へ報告する、あるいは、政府関係者間の会議を設定するなど、「外交」の仕事をしています。「外交」は、一見、「地方自治」とは無関係であるようにも見えますが、そうではありません。「外交」では、自分の国のことを語らなければなりません。日本をよく知るには、地方を知ることができません。県庁での勤務を含めたリアルな「地方自治」を語るができるのは、現在の仕事でも大きなツールとなっています。また、「地方自治」への理解を深めることは、国家のガバナンスという大きなテーマを考えることにも繋がるので、外国における情報収集、分析の際にも大変役立っています。国内、国外を問わぬ幅広さを持つとともに、とても深い「地方自治」の世界にどっぷりと浸かってみませんか。

#### PROFILE

平成10年4月 自治省採用  
行政局選挙部政党助成室  
平成11年7月 鹿児島県総務部地方課  
平成13年8月 総務省消防庁総務課  
平成15年4月 自治財政局交付税課  
平成16年11月 公営企業金融公庫  
経理部資金課  
債券第三係長  
平成20年4月 総務省自治行政局  
国際室国際交流係長  
平成22年9月 自治行政局地域政策課  
国際室多文化共生推進  
係長  
平成23年3月 外務省在エディンバラ  
日本国総領事館副領事  
7月 現職

地方自治体

海外



#### とある一週間

- 月曜日** 週末の要人の発言などを、現地新聞や各種メディアによってチェック。ここから1週間が始まる。
- 火曜日** 選挙制度調査のための来訪者をアテンドし、政府や議会との会議に出席。このような会議のためのアポイント取りも重要な仕事。
- 水曜日** スコットランドの独立を巡って、大きな動きあり。アシスタントとともに情報収集し、外務本省への報告準備にとりかかる。
- 木曜日** 出勤前、息子と娘を学校に送り届ける。現地校で元気に頑張る彼らの姿は大きな励み。昼は総領事と地元市長との会食に出席。
- 金曜日** 日本の学校で外国語指導助手（ALT）になることを希望する学生の応募書類に目を通す。昼食は行きつけのサンドイッチ屋で。
- 土・日曜日** ジムへ行き、マージナルアーツやダンスで十二分に汗を流す。昼は家族とカフェでお茶。夜はTVでサッカープレミアリーグ観戦。

関係機関

留学



同僚と談話中